同志社大学アメリカ研究所2026年度秋季公開講演会

# 外から見たアメリカ 中南米編

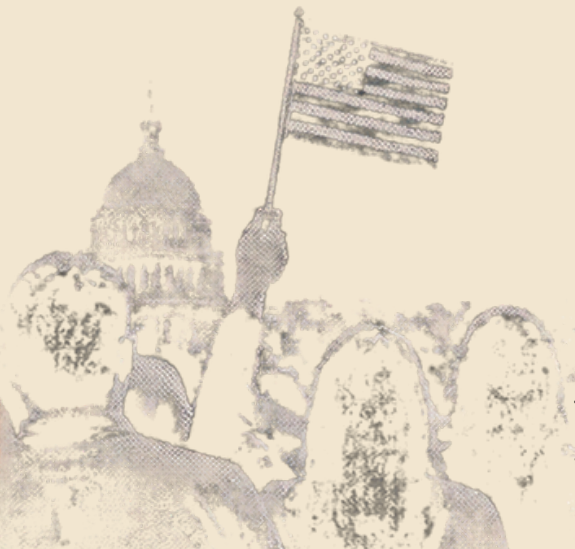
## ラテン系移民が動かすアメリカ政治

現代アメリカ政治を理解するうえで、人口・政治的影響力を拡大するラテン系住民の存在は欠かせない。本講演では、これまでのラティーノの政治参加や投票行動に関する研究成果を紹介するとともに、移民の送出国であるメキシコの政治・社会とのつながりから、アメリカ政治を捉え直す。さらに、トランプ政権の移民政策がラテン系住民の政治意識や行動に与える影響を考察し、2026年中間選挙におけるラティーノ票の動向を手がかりに、変容するアメリカ政治の現在と今後を展望する。



### 講師：高橋百合子

早稲田大学政治経済学術院教授。コーネル大学大学院にて政治学博士号（Ph.D.）取得。神戸大学大学院国際協力研究科准教授を経て、2016年より早稲田大学に勤務。2021-2023年、カリフォルニア大学サンディエゴ校米墨研究所客員研究員。専門は比較政治学、ラテンアメリカ政治、グローバルサウスの比較政治経済学。主にメキシコ政治、移民の政治参加、米国のラテン系住民の政治意識・投票行動、米国・メキシコ関係について研究している。



**日時：2026年12月4日（金）3限**
**13：10～14：40**
**場所：同志社大学烏丸キャンパス**
**志高館SK110**
**対面開催、申し込み不要**

合理的配慮が必要な方は同志社大学アメリカ研究所事務室までご連絡ください
TEL：075-251-4900 FAX：075-251-3091
メールアドレス：ji-amekn@mail.doshisha.ac.jp